

図書室だより

No.7 2021. 10. 28



帝京中学・高等学校図書室

高校2年8組では“夏の書評選手権”を開催して生徒間で投票した結果、以下の3作品が優秀作になりました。図書室には他の生徒の書評も掲示していますので、本選びの参考にどうぞご覧ください。

『少女地獄』 夢野久作

本書は様々な少女が登場する「何んでもない」、「殺人リレー」、「火星の女」の三部作になっている。周囲の大人たちを翻弄する少女たち。嘘が上手くて、噂好きで、執念深い。でも、それもご愛嬌。女の子どもの、許してよ、とでも言うかのような大胆な行動の数々の中に垣間見える繊細さのバランスが実に女の子らしい。どの主人公も可憐で儂い少女であるが、その心の内には確かな強さがある。それは、自分も含む全てを地獄へ連れていくほどの。

近年、世界中で「男女平等」が謳われている。当たり前になり女性と男性の間に人間としての能力の差はなく、もっともな意見である。だが、男性と女性の持つ強さは別の種類のものだろう。女性はか弱く守らなければならない存在だという時代はもう終わった。今こそ女性の持つ強さに触れてみてはいかがだろうか。

(吉田稀晶)

『ルビンの壺が割れた』 宿野かほる

ルビンの壺とは、デンマークの心理学者エドガー・ルビンが考案した、見方によって「壺」に見えたり、「向き合った2人の顔」に見えたり、人間の認知能力の特徴を衝いた図形である。

男女2人のメールのやりとりだけで進行するこの物語は、まさにルビンの壺のように、立場によって見方が変わる作品となっている。この作品は、ミステリー的な雰囲気はあるものの、そう区分けされるにはどこか違和感を感じる。ジャンル分け不能という、あまりにも曖昧な表現が最も適した表現なのではないだろうか。

読み終えたときには、誰かと共有したくなり、各々の解釈を確かめ合いたくなる作品であることは間違いない。先の読めない展開、待ち受ける驚きのラストに期待して、是非読んでいただきたい。(上村知也)

『空の境界』 奈須きのこ

※この本は図書室にあります。

前々から気になっていたが、最近出た作品でもないし、「いつか読もう」という程度に思っていた本作。書店で「夏目漱石」の「な」で探していると、偶然「奈須きのこ」の『空の境界』に出会ってしまった。

この作品がライトノベルであるか否かという議論には未だ決着がついていない。たしかに、二重人格や魔術等、中高生(特に男子)の心をくすぐるような単語が頻出する。しかしこれは紛れもなく文学であると感じる。「俯瞰風景」、「殺人考察」といったサブタイトルで織りなされる物語は、抽象的でありながら人間味を感じさせる。

特に、最後の「痛覚残留」では、異常者であることが正常な生活を送るための唯一の手段であったというある登場人物の残酷な運命に思いを馳せずにはいられない。

カッコいいけれど、それだけじゃない。一度本を開けば、血腥(ちなまぐさ)い夜に誘われる。

(山口煉太郎)

☆新しい本が入りました

《000 総記》

・シンギュラリティ (神崎洋治)



《100 宗教・心理学》

・高校生しなくてもいいこと (渡辺憲司 他)

《200 歴史・地理・伝記》

・地域別×武将だからおもしろい戦国史 (小和田哲男)
・東京のトリセツ

《300 社会科学》

・ニュース年鑑 2021 (池上彰)
・池上彰の君と考える戦争のない未来 (")
・文藝春秋オピニオン 2021 の論点 100
・日本国勢図会 2021/22 (矢野恒太記念会)
・女性の世界地図 (ジョニー・シーガー)
・地方消滅の罨 (山下祐介)
・東北発の地震論 (")
・自宅学習の強化書 (葉一)
・世界のへんな肉 (白石あづさ)
・雇用は契約 (玄田有史)
・学校、行かなくちゃいけないの? (雨宮処凛)
・イギリスの大学・ニッポンの大学 (荻谷剛彦)
・「文系学部廃止」の衝撃 (吉見俊哉)
・ポストコロナ期をいきるきみたちへ (内田樹 他)
・「つなみ」の子どもたち (森健)



《400 自然科学》

・生き物が大人になるまで (稲垣栄洋)
・16歳からの相対性理論 (佐宮圭 他)
・深掘り! 中学数学 (坂間千秋)
・学校では教えてくれない自分を休ませる方法 (井上祐紀)
・図解でわかる14歳からの脱炭素社会 (インフォビジュアル研究所)



《500 技術・工学・家政》

・100年後の水を守る (橋本淳司)
・住まいの解剖図鑑 (増田奏)
・身近なプラスチックがわかる (西岡真由美 他)



《600 産業》

・図解でわかる14歳から知る食べ物と人類の1万年史 (インフォビジュアル研究所)
・カレーライスを一から作る (前田亜紀)

《700 芸術・スポーツ・娯楽》

・マンガ 日本の古典 源氏物語 上・中・下 (紫式部)
・あの夏の正解 (早見和真)
・60分でわかる! eスポーツ最前線 (鴨志田由貴 他)

《800 言語》

・14歳からの文章術 (小池陽慈)
・学校では教えてくれないゆかいな漢字の話 (今野真二)
・比べて楽しい国語辞典ディープな読み方 (ながさわ)

《900 文学》

・ショートショートでひらめく文章教室 (田丸雅智)
・汚れちまった悲しみに… (中原中也)
・雲上雲下 (朝井まかて)
・不在 (彩瀬まる)
・給食アンサンブル (如月かずさ)
・白鳥とコウモリ (東野圭吾)
・枕草子いとめでたし! (天野慶)
・金の角持つ子どもたち (藤岡陽子)
・あの夏、二人のルカ (菅田哲也)
・余命 3000字 (村崎翔諦)
・平成君、さようなら (古市憲寿)
・闘牛の影 (マヤ・ヴォイチェホフスカ)
・若い兵士のとき (ハンス・ペーター・リヒター)



話題の本